



10月ゆめのはだより



2025年10月1日

9月後半からは、早い梅雨明けを降り戻すかのように、一日の中で雨が降ったり止んだりする日が続きましたね。10月4日（土）には、『第14回うんどう会』開催しますが、毎日天気予報とにらめっこ、どうか晴れますようにと祈る日々です。

〈行事予定〉

月	日	曜	行事
10	4	土	第14回うんどう会（幼児）
	8	水	ゆめのは広場（散歩）
	16	木	身体測定（乳児）
	17	金	身体測定（幼児）
	21	火	交通ランド（年長）
	31	金	秋の遠足（幼児）
11	7	金	虫歯予防の集い（かわもと歯科）
	13	木	身体測定（乳児）
	14	金	身体測定（幼児）
	20	木	ゆめのは広場（人形劇）
	29	土	保護者交流会

10月のお弁当日…10/4（土）・/18（土）
11月の保護者交流会詳細は後日お知らせします

2025年度 クラス編成 2025.10月現在

クラス	園児数	クラス	園児数
どんぐり	12名	ほし	25名
つくし	8名	つき	24名
たけのこ	16名	にじ	25名
りす	25名	総園児数	135名

『先生』と呼ばれることについて

他園の視察に行くと、職員のことを「～先生」ではなく、大人も子どもも、名前で呼び合う園があります。

理由として、一般的な教育機関の『先生』とは、学問や技術を教えたり、学問等において指導的な立場にある人であり、園では学問や技術の『教え込み』をしないので「～先生」ではなく、「～さん」と呼び合うとのことでした。

また、調べてみると『先生』とは、相手への敬意を表す言葉であり、自分のことを「先生」と呼ぶことは一般的ではないと書かれており、自分のことを「先生」と言い、使用していることが恥ずかしくなりました。

日本語を正しく理解し、状況に応じて使用すること、そして『子どもを一人の人として尊重し、関わる』とは、自身の関り・言葉・振る舞いを改めて見直したいと思いました。



ゆめのはエピソード②

『折り合いをつける』



1歳児たけのこ組さんでのお話です。

Aちゃんがお部屋の中のすべり台に座っていると、Bちゃんが変わってほしいと、Aちゃんの正面に来てすべり台をさし『ん、ん（かわって）』と、伝えました。Aちゃんは『ん、ん（いや）』と首を横に振り、変わらないと伝えます。伝えあう中で、時々手が出そうになり、Bちゃんに「かわってほしいの？」と聞くと、『かわって』とBちゃん、Aちゃんに「いやなの？」と聞くと、『ん、ん』とうなずきます。するとBちゃんは、その場を去り、ままごとコーナーで遊び始めました。しばらくすると、Aちゃんがすべり台を降り、気づいたBちゃんがすべり台に向かい楽しみ、私と目が合うと、にっこりと微笑んでくれました。はっきりとした言葉でなくても、目を合わせ伝え合い、自分たちで解決する姿に関心したのと、大人が多く言わなくても、分かり合っていることに、感動した場面でした。

〈お礼とお知らせ〉

○9/27（土）の午前中、急なお誘いにも関わらず、6名の保護者の方にご協力いただき、園庭の整備を行いました。ありがとうございました。

○9月～りす組に竹本保育教諭、10月～ほし組に山室保育教諭が加わり、伊藤幼児主任は、ほし組兼幼児フリーとして、全体の見守りをいたします。よろしくお願ひいたします。

※おすすめ絵本は、後日、玄関ホールに掲示します。